【公表資料】

平成２７年１１月２５日

知事の海外渡航（インドネシア）実施概要

１ 日 程

平成２７年１１月２１日（土）日本～インドネシア
２２日（日）インドネシア
２３日（月）インドネシア
２４日（火）インドネシア
２５日（水）インドネシア～日本

２ インドネシア事業及び行事内容

（1）地元テレビ局 ＮＥＴ．ＴＶディレクターとの意見交換

① 日 時 11月21日（土）１９：００～２１：００
② 会 場 マンダリンオリエンタルホテル内 シンファ
③ 参加者 9名
県関係：7名（知事、秘書課総括課長補佐、国際交流課長等）
ＮＥＴ・ＴＶ：2名（総合ディレクター、報道ディレクター）
④ 概 要
・ 山梨県関係の番組を３８本既に作成し、放送してくれていることに対する謝礼、及び今後の番組取材に関する方針についての意見交換を実施
⑤ 成果
・ 今後も積極的に山梨県の取材、番組製作、放送を行うことで合意。

（2）山梨県人会関係者との意見交換会

① 日 時 11月22日（日）１１：００～１３：００
② 会 場 ダプール・スンダ・チプテ
③ 参加者 １６名
県関係：7名（知事、秘書課総括課長補佐、国際交流課長等）
山梨県人会：9名（名誉会長、特別顧問等）
④ 概 要
・ 紹介、挨拶、意見交換、記念品贈呈 等
・ 現地へ訪問する本県関係者や進出企業の支援体制構築の一助とするため、代表者との意見交換を実施
⑤ 成 果
・ 山梨県の産業（観光・県産品）について紹介
・ インドネシアへ進出する本県企業に対する支援やインドネシアからの誘客促進のための情報発信について協力を得ることを合意した。

(3) 訪日旅行促進イベント「ジャパントラベルフェア」視察

① 日　時　11月22日(日)15:00～15:30
② 会　場　セントラルパークモール
③ 参加者　約45,000名
観光事業者・団体等:約38団体(旅行会社、航空会社、地方自治体　等)
一般参加者:40,000～45,000名
④ 概　要
・ 日本政府観光局(JNTO)が主催する旅行即売イベントにおいて、来場した消費者の動向や、イベントに出展している他自治体の対応を視察し、今後の誘客促進に向けた知見を得た。
⑤ 成　果
・ 現地消費者の生の声を通じ、訪日旅行の傾向を把握した。
・ 他自治体の先進的な取り組みに触れ、本県の誘客戦略構築のための知見を得た。また、知事がブース内において本県観光の魅力を PR。

(4) 日本インドネシア交流促進レセプション「Yokoso Nippon!」

① 日　時　11月22日(日)17:30～19:30
② 会　場　在インドネシア日本国大使公邸
③ 参加者　300名程度
県関係:9名(知事、秘書課総括課長補佐、国際交流課長等)
日本側:200名(国会議員交流団、財界 VIP　等)
インドネシア側:100名(インドネシア議員団、インドネシア政府関係者等　政財界要人)
④ 概　要
・ 在インドネシア日本国大使館主催の交流レセプションに本県知事が参加し、インドネシアの政・財・官・文化等の各界要人との交流をとおして、本県の魅力を発信し、新たなネットワークを構築し、交流チャンネルの更なる拡大を図る。
⑤ 成　果
・ 観光、産業、教育の各分野における、インドネシアのキーパーソンとの人脈を構築し、本県との交流拡大の基礎つくった。
・ インドネシア及び日本の各界要人とのネットワーク作りを通じて、本県の取り組みへの支援体制を構築した。

(5) 現地山梨日本酒・ワイン愛好団体との意見交換

① 日　時　11月22日(日)18:00～21:00
② 会　場　現地レストラン(AMUZ Gourmet Restaurant)
③ 参加者　160名
県関係:7名(知事、秘書課総括課長補佐、国際交流課長等)
県産業団体関係:4名(ワイン、日本酒メーカー関係者)
現地団体関係:150名(現地酒類輸入業者等)
④ 概　要
・ インドネシアソムリエ協会会長が設立した山梨日本酒・ワイン愛好団体「ヤマナシ・ハッピー・クラブ」との意見交換を通じて、県産酒類輸出の早期実行や、今後の更なる輸出拡大を要請。
⑤ 成　果
・ 県産酒類輸出手続きが本年度中にも完了し、輸出開始が見込まれること

を確認。今後の更なる輸出量拡大のための知見得た。

(6) 日本インドネシア観光交流拡大シンポジウム

① 日　時　11月23日(月)　9:00～12:00
② 会　場　シャングリラホテルボールルームA
③ 参加者　331名
県関係:7名(知事、秘書課総括課長補佐、国際交流課長等)
日本側:224名(日イ国会議員連盟会長、JATA会長、観光庁長官、JNTO理事長、高知県知事愛媛県知事　等)
インドネシア側:100名(観光省大臣、ジョグジャカルタ特別州投資調整庁長官、観光事業者　等)
④ 概　要
・ ＪＮＴＯ主催の観光交流拡大シンポジウムにおいて、日本側の自治体を代表して、地方の国際交流を通じた地方創生に関するプレゼンテーションを実施。
⑤ 成　果
・ インドネシアの政府関係者や観光事業者に対して、日本側の自治体を代表して本県の四季の魅力や本県とインドネシアの交流をPRし、本県の存在感を向上させた。

(7) ジョグジャカルタ特別州との交流促進に関する覚書締結式

① 時　間　11月23日(月)11:05～11:20
② 会　場　シャングリラホテルボールルームA
③ 参加者　2名
県関係:1名(知事)
ジョグジャカルタ特別州側:1名(投資調整庁長官)
④ 概　要
・ 文化、農業、観光、教育の各分野における交流促進に関する覚書を締結し、更なる交流拡大の契機とする。
⑤ 成　果
・ ジョグジャカルタ特別州との「観光交流に関する覚書」を締結し、交流拡大の地歩を固めた。

(8) ジョグジャカルタ特別州投資調整庁長官との意見交換

① 日　時　11月23日(月)12:00～13:00
② 会　場　シャングリラホテル内レストラン
③ 参加者　12名
県関係:7名(知事、秘書課総括課長補佐、国際交流課長等)
ジョグジャカルタ特別州側:5名(投資調整庁長官、観光部長、マーケティング課長、投資調整庁国際調整課長等)
④ 概　要
・ 更なる交流拡大に向けた意見交換の実施。
⑤ 成　果
・ 多岐に亘る分野での交流促進のための今後の展望を共有し、事務レベルでの協議事項について明らかにした。

(9) 日本インドネシア交流促進レセプション「日インドネシア交流の夕べ」

① 日　時　11月23日(月) 19:00～21:30
② 会　場　ジャカルタ・ムリアホテル
③ 参加者　1，300名
　　県関係：7名(知事、秘書課総括課長補佐、国際交流課長等)
　　県産業関係・観光事業者：15名(酒類関係・観光事業者等)
　　日本側：約1000名(日本インドネシア協会会長、日本インドネシア国会議員連盟会長　等)
　　インドネシア側：約300名(インドネシア大統領　等)
④ 概　要
・ インドネシア政・財・官・文化の各界要人約 1,000 人が出席する大型レセプションに出席した。
⑤ 成　果
・ 各界要人に対して本県の魅力を発信するとともに、新たなネットワークを構築し、交流チャンネルの更なる拡大を図った。

(10) 現地酒類事業者との意見交換

① 日　時　11月24日(火) 10:00～10:30
② 会　場　SAKE プラス　本店
③ 参加者　12名
　　県関係：7名(知事、秘書課総括課長補佐、国際交流課長等)
　　インドネシア側：5名(社主、Van+社長、輸出担当者ほか)
④ 概　要
・ 現地最大手のワイン輸入業者で小売店を持つ JADDI Internasional との意見交換を実施。
⑤ 成　果
・ 現地への輸出手続きの確実な実施や今後の更なる輸出量拡大についての連携を強化することができた。

(11) ガルーダ・インドネシア航空幹部との意見交換及び相互交流協定の締結

① 日　時　11月24日(火) 14:00～14:30
② 会　場　ガルーダ・インドネシア航空本社
③ 参加者　10名
　　県関係：7名(知事、秘書課総括課長補佐、国際交流課長等)
　　インドネシア側：6名(社長、筆頭副社長等)
④ 概　要
・ 本県のインドネシアとの交流における要となる同社との意見交換会を実施し、今後2年間に渡る相互協力協定に調印。
⑤ 成　果
・ 今後の一層の交流促進に向けた各種の事業展開について合意した。

(12) 日系ショッピングモール視察

① 日　時　11月24日(火) 16:00～17:00
② 会　場　イオンモール　BSD　CITY
③ 参加者　10名
　　県関係：7名(知事、秘書課総括課長補佐、国際交流課長等)
　　インドネシア側：3名(ｲｵﾝﾓｰﾙｲﾝﾄﾞﾈｼｱ営業部長等)

④ 概　要

・ 日本製品に対する現地消費者の反応等を確認するため、本年 5 月にイオンモール1号店としてオープンした「イオンモール BSD City」を視察する。

⑤ 成　果

・ インドネシアに輸出するメリット、デメリット、現地一般消費者の動向について理解を深めた。

【問い合わせ】

国際交流課	課長	藤巻美文	直通 055-223-1620	県庁内線 4400
国際観光振興担当	主任	東　恒樹	直通 055-223-1620	県庁内線 4421
	主任	石田由佳	直通 055-223-1620	県庁内線 4423